

青森市議会議員

たて やま よし や

館山善也の報告



青森市議会議員として11年目に突入。これからも全力で走ります。

これからも丁寧に皆様のお声に向き合い、地域の課題に取り組んで参ります。

大好きな青森のため、また皆様に少しでも恩返しできるように、これからも全力で頑張ります。

今冬は、8年ぶりとなる豪雪災害対策本部を立ち上げるほどの大雪となりました。青森市全域で雪による混乱がみられ市民相談電話件数も過去最高となり、3月議会において除排雪事業に対し多くの質問、意見、提言が出ました。多額な事業費を投入する以上、効果的・効率的な作業は必要ですが、一番大切なのは除排雪作業によって市民が安心して日常を送れて安定した生活につながることを考えます。

流・融雪溝の冠水について提言しました

「提言の背景・経過」

青森市内には数十カ所の流・融雪溝があります。流・融雪溝とは水源から水を流して雪をとかす側溝のことです。水源は海水や河川の水など、また水を流すためには海の潮の満ち引き(干潮・満潮)を利用したり、水をポンプ等で汲み上げたり、さらにその水を切り替え板等で水路を変え細部まで枝分かれさせたりと、その地域ごとで異なり、使用方法や時間帯も違います。そして費用は受益者負担で地域住民の負担となっており、使用のルールや費用を管理運営しているのは、地域の流・融雪溝管理組合です。流・融雪溝からの冠水による被害は、今冬もニュースにもなっていました。冠水が発生すると、道路の圧雪は水を吸ってシヤベット状となり、車両のスタックや、歩行困難をひき起こして、一帯の道路は混乱状態になります。さらに家屋へ水が侵入すると大変な事態になります。



私は流・融雪溝の冠水は人為的災害だと考えています。流・融雪溝に雪を詰まらせなければ冠水は発生しないので、使用する地域住民の皆さんがルールを守り協力すれば、冠水は防げると考えます。このような冠水がなくなれば、例年出勤している青森地域広域事務組合・消防本部の皆さんの負担軽減にもつながるので住民の皆さんと行政の連携し協力が必要です。そして万一冠水が発生した場合、

青森消防本部、行政、地域住民(管理組合)の連携協力は不可欠と考え、今回の質問と提言をさせていただきました。

◎流・融雪溝の冠水の現状

青森消防本部・警防課によると例年同じような場所での冠水が発生しているとのこと。また、今冬12月から1月の冠水による青森消防本部の対応件数は26件でした。都市整備部・道路維持課の担当者は、流・融雪溝の冠水発生は雪の詰めすぎが大きな要因と話していました。

さらに近隣住民の皆さんにお聞きしたところ、流・融雪溝の管理組合責任者の変更や住民の引っ越しにより誰が責任者なのか知らない、どの時間帯に投雪できるかわからない。そもそも管理組合の存在すらも知らない住民が多いことがわかりました。

現在、市の担当課(都市整備部・道路維持課)は、流・融雪溝管理組合と交流も改善策の話し合いも行っていないと聞きました。



冠水によりスタックした市営バス



大野での冠水

そこで、地域連携を図ることを目的に提案

- ① 青森市も協力して、地域ごとに流・融雪溝の管理組合責任者や使用ルール(投雪の可能時間帯等)をわかりやすく一枚の紙にまとめる。
- ② それを地域住民に配布する、流・融雪溝の冠水を未然に防ぎ、万一の冠水時には連携し情報を共有していただく。

③ 青森消防本部にも情報提供をして冠水時には三者間の連携と協力ができるようにする。

除排雪事業者の皆様、青森市担当部局の皆様へは、連日連夜の出勤・出勤に対して心から敬意を表し感謝申し上げます。また、道路冠水はじめ風水害、緊急支援等々で青森市民のための支援・救助の対応をいただいている消防本部、隊員・関係者の皆様方に対しても同様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

古川中学校で講演をしました

古川中学校1学年では、総合的な学習の時間に中学校学区で「地域の課題」や「人々の課題」に取り組んでいる人から講話を聞く機会を設けており、この度、私がゲストティーチャーとして依頼を受けました。娘に教わったパワーポイントを使った話は45分間に収まるか不安でしたが、先生方の協力もあり無事終了することができました。真剣に聞いている生徒を見てこちらも熱が入り、とても楽しい時間でした。退場する時は全生徒に両手で手を振っていただき引き受けてよかったですと感じました。



皆さんの声がかた子になりました

北小学校送迎バスの乗り降りが安全に!

令和2年度、西田沢小学校、奥内小学校後潟小学校が統合して「北小学校」となり送迎バスの運行が始まりました。PTAの皆さんから、子どもたちが道路でバスの乗り降りを行うのは危険で心配との相談を受け、教育委員会と協議の結果、使っていないプールを取り壊し、跡地にバスのロータリーと出入口を整備することにしました。これで、バス通学の児童が敷地内で安心して乗り降りするスペースを確保できました。(総事業費約2,800万円)



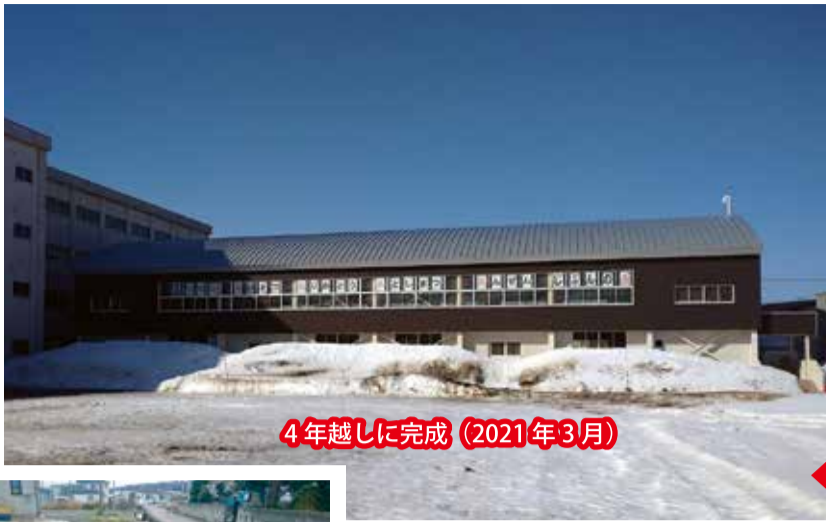
工事前(2020年2月)



完成までもう少し(北小登校日2021年1月13日)



完成した通学バスのロータリー(2021年3月5日)



**4年越しの念願叶う！
甲田小学校の体育館
改修工事が完成しました**

甲田小学校屋内運動場は屋根全体がサビつき、4年前住民から改修を望む声が上がっていました。運動場は地域避難所に指定されているため、近隣町会から早期着工が求められていましたが、令和2年度事業としてスタートしました。同校屋内運動場の屋根と外壁の改修、工事費用1億1千722万円予算計上されこの度、念願がなつて改修がすべて終了しました。



**安田地区水路に
ガードレール設置**

安田地区の青森県立聾学校付近の水路にガードレールを付けて欲しいと地域の方から要望があり現地調査をしました。現場は通学路指定はされていないものの往来が多い地点でした。外灯はなく、水の流れが急で側溝は深いため、大人でも水路に落ちると危険な箇所でした。水量が増えたとさらに危険が増すことを踏まえガードレールを早期に設置するよう要望していました。2年越しでようやく完成したことをご報告いたします。

令和2年第4回定例議会



予算特別委員会
委員長

**合葬墓の生前予約について
要望しました**

月見野霊園合葬墓には、約2,000体の遺骨が保管可能な納骨室と約8,000体が埋葬可能な合葬墓が設置される予定です。



**高田地区の融雪設備の
整備をお願いしました**

高田地区・太陽台団地手前の坂の融雪設備は平成25年度から補修工事の要望の声が上がっています。毎年、気温が下がる初冬に融雪不備が発生しないように確認してほしいとお願ひしていましたが初冬、この坂を登り切った付近で融雪装置が壊れたと近隣住民の皆さんからご連絡をいただき、青森市都市整備部・道路維持課に対応依頼をしたところ、無事に今冬に間に合うように補修完了となりました。



浪館通り線路の補修依頼を青い森鉄道・鉄道管理事務所(保線担当)に青森市道路維持課を通してお願いしております。

新生活を迎えられる皆さん、新たな門出おめでとうございます。
コロナ禍の中、生活様式は一変しましたが、皆さんの積み重ねた時間と経験が明日の自分を支えてくれます。
新たな生活に希望を持ち取り組んでください。
入学式には学校側も様々な感染防止対策を講じており会場への入場を制限しております。
参列できないご家族の残念なお気持ちに思いを馳せつつ、密回避の協力のため館山善也も式典への参列を見合わせておりますが、新生活を応援したい気持ちはこれまで以上に熱く、強い思いを持ってさまざまなことに取り組みたいと考えております。
皆様からのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

**議員提出議案として
国に対しての要望書提出**

私の所属会派から『学校給食無償化を国に求める要望』を令和3年第一回定例議会に提出しました。学校給食費の無償化については平成28年3月に内閣府の経済財政諮問会議において、検討するよう提案があったにもかかわらず、いまだに具体策が示されていません。本来給食は義務教育の一環として家庭の経済状態や居住地域にかかわらずすべての子どもたちが等しく享受でき、その財源は国が担うべきだと考えます。義務教育の機会均等の面からも住居する地域によっての格差を生じさせることがないようにコロナ禍の今だからこそ国に要望すべきタイミングと考え、義務教育として国に対しての要望を会派の賛同をいただき議員提出議案としてこのほど提出しました。

生前者のための予約受付が令和3年1月にスタートしましたが、納骨室及び合葬室が80名、合葬室のみが170名の募集枠だったところ、両方とも約2倍の応募があり抽選となりました。霊園管理運営チームの担当部長(市民部部長)に相談し希望者が多く抽選から漏れた方々のことを踏まえ次年度も募集対応を要望したところ、次年度も募集してくれることになりました。
※注意/納骨室に収蔵できる期間は20年間と定まっております。生前予約の場合予約時から20年間の収蔵となります。

**皆様の安全を守り、暮らしを支え、
安心をもたらすために
今日も全力で走ります。**



館山善也 直通連絡先 090-4795-2010

ホームページアドレス
<http://tateyama448.jp>



たてやま善也 検索